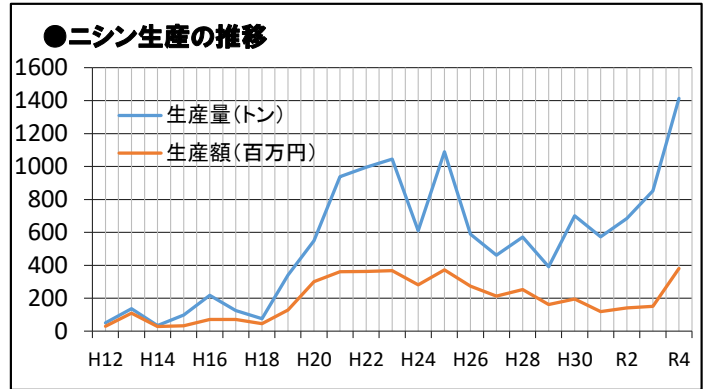
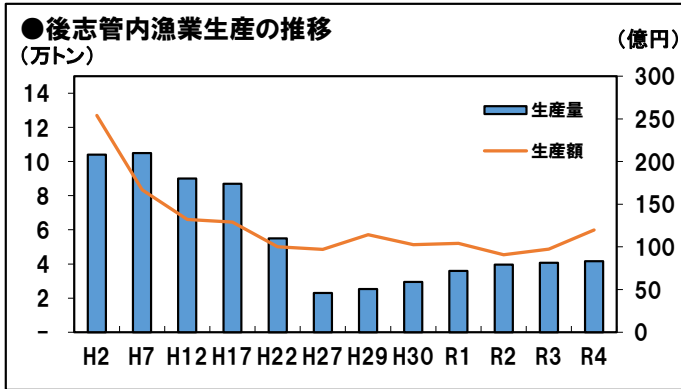
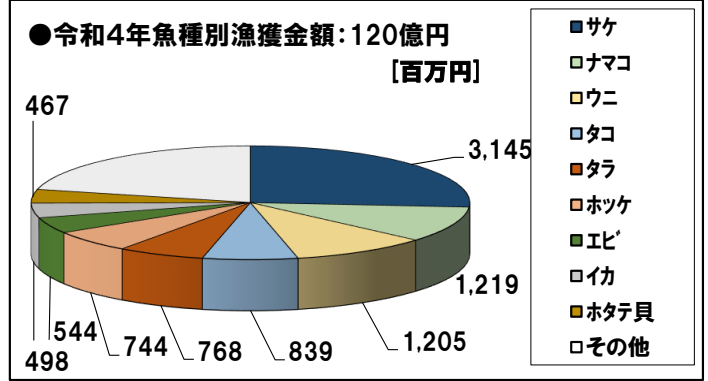
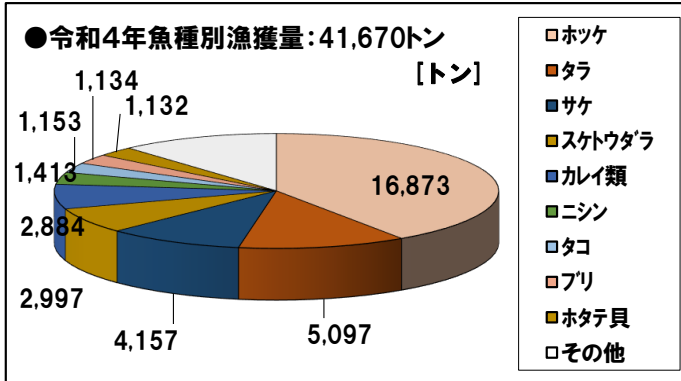


4 後志の水産 FISHERIES

主要魚種のホッケやスケトウダラ資源の減少やトドによる漁業被害などにより漁業生産が低迷する中、サケやニシン、ヒラメ等の種苗放流により、つくり育てる漁業の取組が進められている。

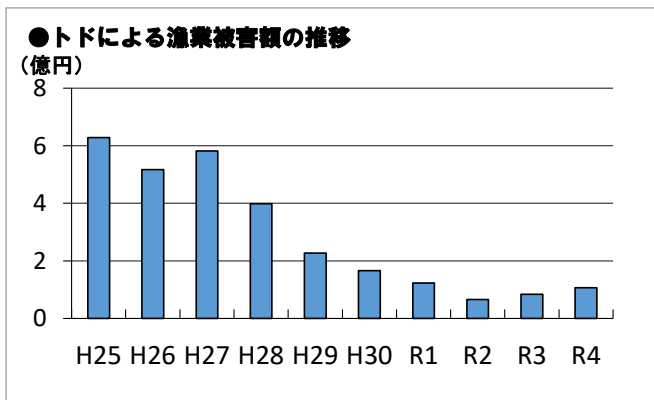
■ 漁業生産の概要

- 管内の令和4年の漁業生産は、41,670トン（全道生産の3.6%）、120億円（全道生産の3.8%）。
- ホッケ、タラ、サケ、スケソウの上位4魚種で管内の全漁獲量の約7割を占める。



■ トド被害対策

- 後志管内の沿岸に冬から春にかけて多くのトドが来遊し、各種刺し網漁業や底建網漁業に多数の被害が発生。令和4年の漁業被害額は約1.1億円（全道の約14%）。
- 被害軽減のため、強化網の導入やトドの駆除、漁業者ハンターの育成などを推進。



■ 日本海漁業振興対策

- 海洋環境の変化に伴う全道的な回遊資源の減少のほか、トドなどの海獣被害が発生している状況などにより、依然として経営状況が厳しい状況。
- 進めてきた振興策の定着・発展や成果のあった取組の他地域への波及などを一層進め、日本海海域の漁業経営の底上げを推進

